

報道関係各位

6月9日「新型コロナウイルス感染症対策 支援情報ナビ」を公開
政府の様々な支援策情報を簡単検索 → こころのストレス度チェック → SNS等の相談へ

厚生労働大臣指定法人「いのち支える自殺対策推進センター（東京都千代田区、清水康之代表理事：以下、「当センター」）」は、内閣官房「新型コロナウイルス感染症対策推進室」と協定を締結し「新型コロナウイルス感染症対策 支援情報ナビ（以下、「情報ナビ」）」を制作。情報ナビは、6月9日より、内閣官房 Web サイト内で利用できるようになります（PC とスマホの両方で利用可）。

情報ナビは、各府省が行っている約 120 の支援策情報をデータベースに登録。利用者は、自身の「困りごと」を直感的に選んでいくだけで、必要な支援策に関する情報を簡単に見つけることができます。また、情報ナビは「こころのストレス度チェック」機能も搭載しており、利用者は自身のストレス度に応じたセルフケアのための情報を得ることもできます。さらに、ストレス度が極めて高いと判定された人に対しては、SNS と電話それぞれの「こころの相談」の情報を提示。スマホ利用者であれば、そのまま相談を受けられるように誘導します。

【「支援情報ナビ」が備える 3 つの機能】

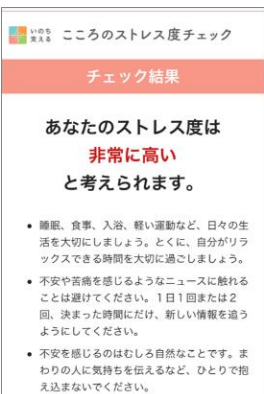
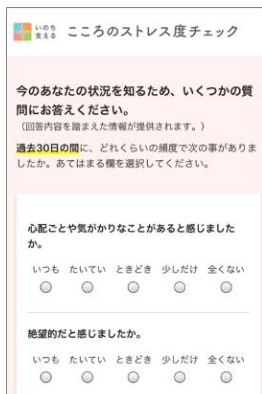
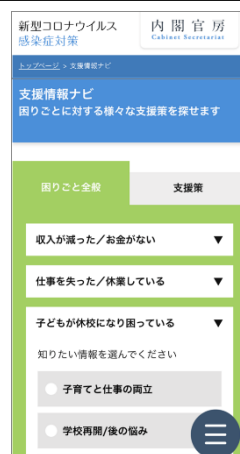
(1) **支援策情報の検索機能**：「収入が減った／お金がない」「仕事を失った／休業している」「子どもが休校になり困っている」など、自身の“困りごと”を選ぶことで、簡単かつ確実に（3 ステップで）支援策にたどり着ける。

(2) **ストレスチェック機能**

利用者は、支援情報ナビ上で気軽に「こころのストレス度」を測り、自身のストレス度に応じたセルフケアの方法等の情報を得られる。

(3) **相談支援への誘導機能**

ストレスチェックの結果、ストレス度が極めて高い人に対してのみ、SNS や電話の「心の相談（実際は自殺防止相談）」の情報を提示。相談を希望する利用者は、そのまま相談を受けられる。※相談申し込みが殺到している場合には受けられない場合もある。



ストレス度チェック（左）と結果表示画面（右）



相談誘導画面

上記のように、制度等に関する情報が必要な人には「制度等の支援情報」を提供し、ストレスへの対処法を知る必要がある人には「ストレス対処法に関する情報」を伝え、ストレス度が極めて高い人（自殺リスクを抱えた人）は「直接支援につなげる」という、3段階の支援を途切れさせずに連動して行うことを目指します。

今後は政府の支援策だけでなく、都道府県の支援策への対応も検討しています。

<本件に関する問い合わせ先>

厚生労働大臣指定法人 いのち支える自殺対策推進センター 広報室（担当：下野）

press@jscp.or.jp / 080-8435-1823 / 東京都千代田区飯田橋4-7-6 カクエイビル4階 C号室